

1 支払基金改革の進捗状況

- 2 令和3事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計
収入支出予算変更
- 3 レセプト振替の状況
- 4 支払基金における審査の一般的な取扱い（医科）の公表（第8回）
- 5 令和3年11月審査分の審査状況
- 6 令和3年12月審査分の特別審査委員会審査状況

審査事務集約に向けた取組について

審査事務集約に向けた取組について（令和4年1月）

取組項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
1 審査支払新システムの構築			(1月) クラウド移行▼	▼ (9月) 新システム稼働	▼ (10月) 集約
A Iによる振分機能の実装				職員・審査委員が確認するレセプト ▼ (9月) 2割	▼ (9月) 1.5割
	(参照1) 規制改革実施計画 (R2.7.17閣議決定：公表)				
2 既存のコンピュータチェックルールの見直し	●H29.10現在 約14.1万 ▼ (4月) 取扱基準策定				
	(実績) 9月 約7.3万件	(実績) 9月 約2.5万件	(実績) 9月 約1.3万件	(目標) 9月までに本部ルールへ集約	(9月) 集約完了

審査事務集約に向けた取組について

取組項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
3 審査の差異の可視化レポート機能の導入		● レポート対象の検討	● 審査結果の 差異の表示 形式を検討 ● 10月 開発・試験 (参照2) 規制改革実施計画 (R2.7.17閣議決定：公表)	● 9月 レポートの実施・ 機能のメンテナンス	
4 統一的なコンピュータチェックルールの設定			コンピュータチェックルール条件の分析 ⇒ 分析後、CCルールの設定・影響調査・検証		
5 医療機関等において請求前の段階でレセプトのエラーを修正する仕組みの導入			● ASP 拡充項目の選定・検証	● 9月 ASPの拡充	

審査事務集約に向けた取組について

取組項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
6 審査結果の不合理な差異解消の取組			<ul style="list-style-type: none"> ●各支部の審査事務体制を診療科単位へ段階的に移行 ※診療科単位での打合せ会や研修会を実施 ●10月 中核支部に診療科別ワーキンググループを構成 ※内科・外科・その他の診療科・歯科ごとに編成し、 審査取決事項の統一に取り組む 	<p>★ 審査取決事項の統一化に向け、医科については、18,838の取決を整理の上、診療科別ワーキンググループ及び本部において検討し、3,565の取決について検討終了 (478を全国又はブロック統一、3,087を削除)</p> <p>歯科については、6,246の取決を整理の上、本部で検討し、5,733の取決について統一 調剤については、466の取決を整理の上、本部で検討し、102の取決について統一 (令和3年12月末時点) (別紙参照)</p>	<p>本格運用</p>
7 業務処理の標準化	<p>業務処理標準マニュアル策定 (2月) ▼</p>		<p>▼ (10月) 事務量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4月 標準日程での業務処理を実施 ※職員からの意見等をもとに検証を実施 ●10月以降 検証結果を踏まえ業務処理標準マニュアルを検討 	<p>▼ (9月) 新システム稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10月以降 集約後のマニュアルを周知 (検証等) 	<p>▼ (10月) 集約</p> <p>検証</p>
8 業務改善プロジェクトチームによる徹底的な既存業務の棚卸しの実施	<p>業務改善PTの設置 (10月) ▼</p>		<p>既存業務の棚卸し・効率化の検討</p> <p>間接部門の業務棚卸し・効率化の検討</p>	<p>★ 12月、業務マニュアルについて職員に周知し、意見等を聴取今後職員からの意見等を踏まえ、更新予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10月以降 間接部門の業務マニュアル周知 ●移行準備 	

審査事務集約に向けた取組について

取組項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
9 集約時の人事配置方針 (職員に対する意向調査の実施)		組織等の検討	▼(6月)意向調査	▼(6月)意向調査 ▼(12月)職員配置先の 内々示	▼(5月)職員配置先の 内示
		人事配置方針の検討・作成		詳細の決定	
				★ 12月、管理職以外の職員に対し配置先を内々示	
10 人事制度・労働条件の見直し			▼(7月)人事制度・ 労働条件の職員提示	▼(7月)労働組合と合意	
		人事制度・労働条件の検討・策定	※職員の意向調査結果を含め検討		
11 支払基金の人員体制のスリム化	職員定員の削減（平成29年度から約20%（800人程度）削減）				令和6年度末段階で 800人程度の定員削減 (約4,310人⇒約3,500人へ)
			※令和2年度定員は、4,113人	※令和3年度定員は、4,046人	

審査事務集約に向けた取組について

取組項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
12 既存事務所の有効活用			●2年度 基本方針の策定	●3年度 事務所貸付・売却等の活用方策の計画策定 ※修繕計画を含む	
				★ 事務所の空きスペースに対する賃貸ニーズ調査を実施した結果、関係団体等から賃貸希望があった事務所について、要否を検討(8事務所)	
13 新規事務所の確保		(高崎市)	▼(6月)賃貸契約を締結 物件選定	▼モデル事業の実施(5月)	▼高崎オフィスでの在宅審査・在宅審査事務の試行的実施(10月)
		(米子市)	●新規物件の選定作業		

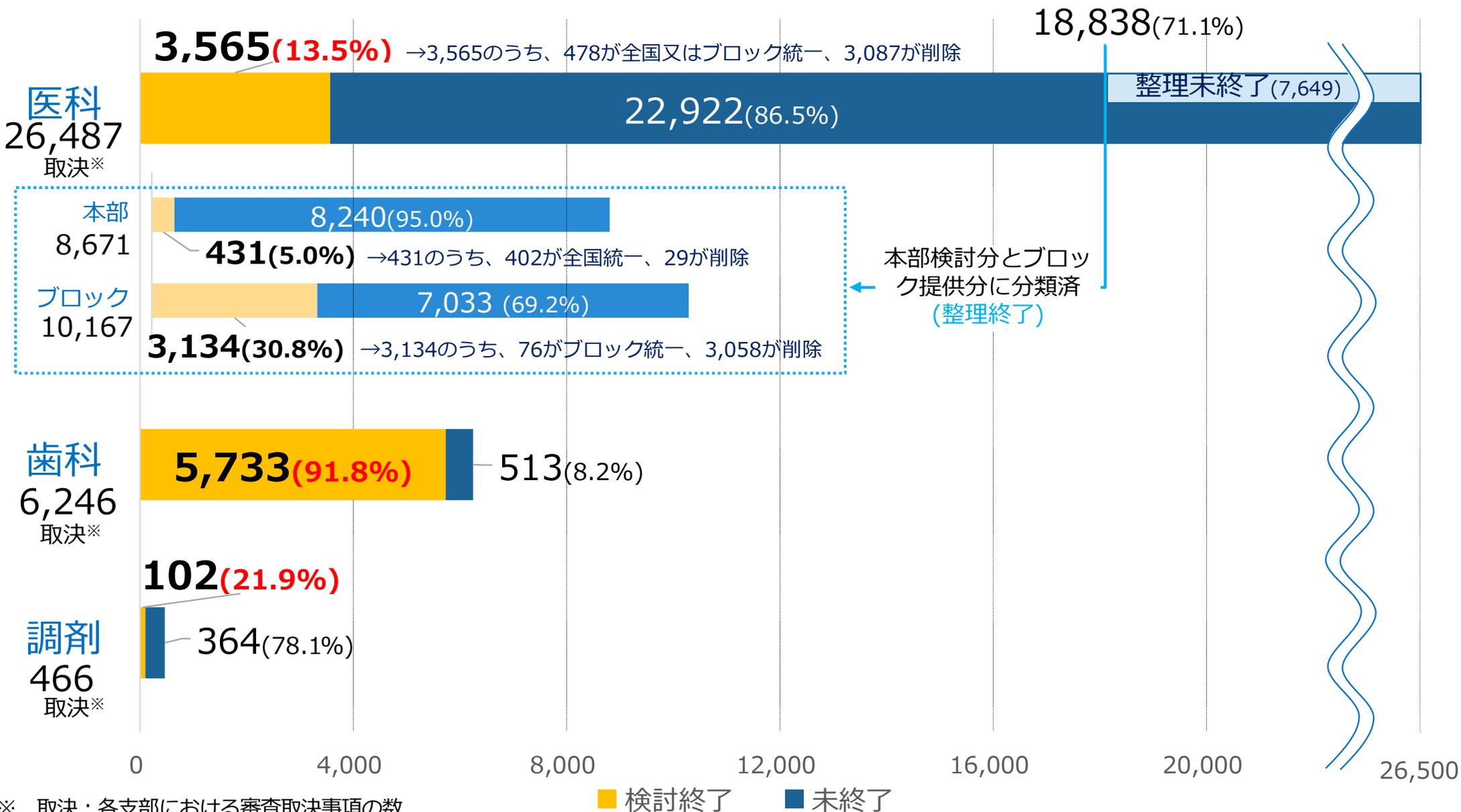
【令和2年7月17日 規制改革実施計画より】⇒【令和3年6月1日 規制改革実施計画のフォローアップ事項として引き続き実施】

- (参照1) 新システムにおけるAIを活用したレセプトの振分機能については、フィードバック機能を組み込み、定期的に新たなレセプトの審査結果を学習させて機能の改善を図るとともに、具体的な機能の詳細と学習メカニズムを明らかにする。【令和2年度中間報告・令和3年度上期措置】
- (参照2) 自動的なレポーティング機能については、審査支払機関における事務点検、審査委員会というプロセスのそれぞれにおいて、審査結果の差異を網羅的に見える化し、どのような要因で差異が生じ得るのかを把握できるよう、具体的なレポーティング内容を明らかにする。【令和2年度中間報告・令和3年度上期措置】

(別紙) 審査結果の不合理的な差異解消の取組

審査取決事項の整理状況(令和3年12月末時点)

検討終了している審査取決事項は、医科は13.5%、歯科は91.8%、調剤は21.9%である。

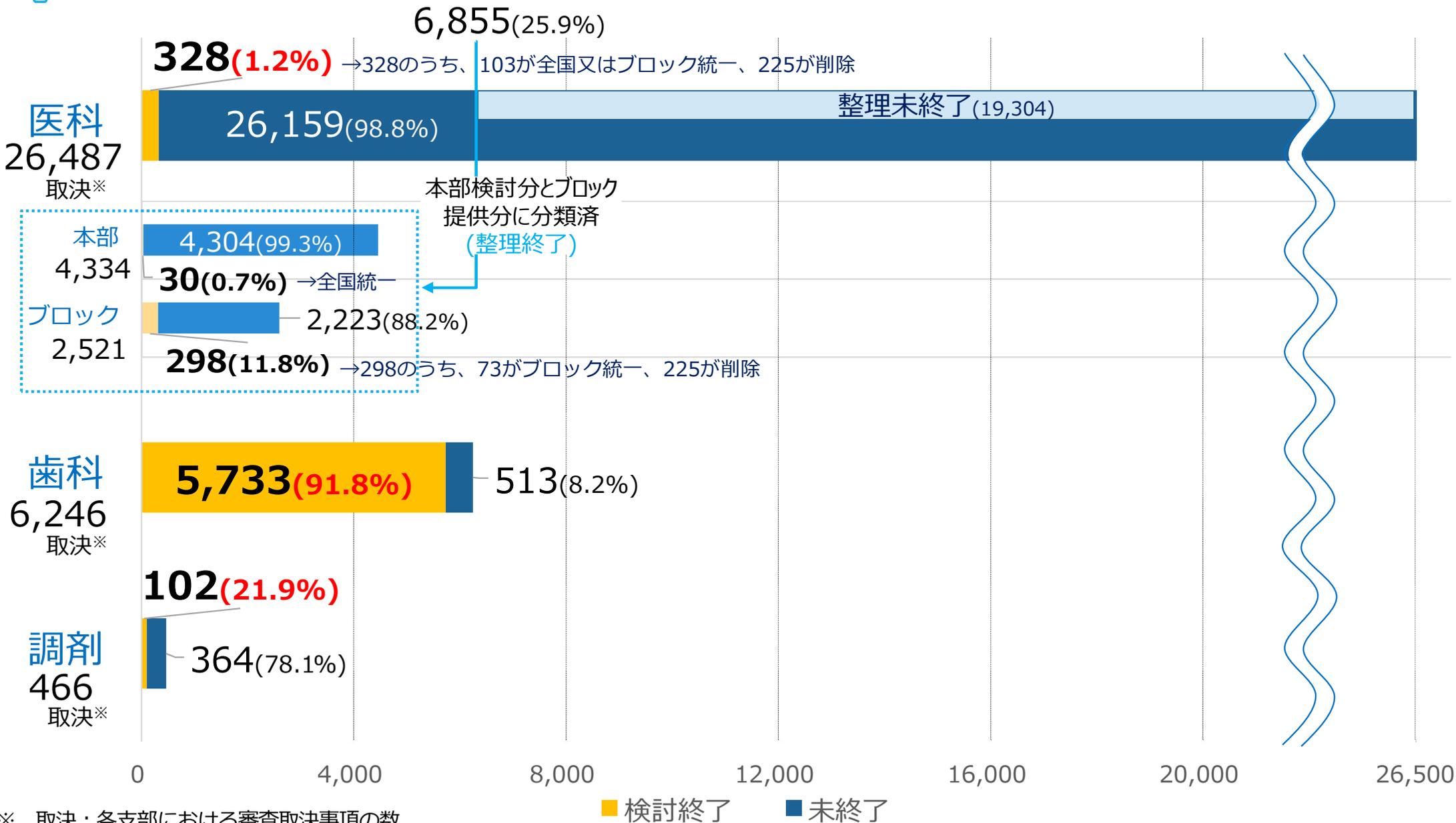


※ 取決：各支部における審査取決事項の数

(参考) 審査結果の不合理的な差異解消の取組 (令和3年10月)

審査取決事項の整理状況(令和3年9月末時点)

検討終了している審査取決事項は、医科は1.2%、歯科は91.8%、調剤は21.9%である。



※ 取決：各支部における審査取決事項の数